

P8. 自然に親しむ鉄道旅行「ジオ鉄®」プロジェクトの 5年間のあゆみと今後の展望

Geo-tour by train trips "Geo-Tetsu® project",
its dissemination activities of five years and future prospects

○藤田勝代 加藤弘徳 横山俊治 上野将司 安田 匡 今尾恵介 須賀康正
(深田研ジオ鉄普及委員会)

1. ジオ鉄とは

鉄道を利用しながら沿線に広がる地質・地形を楽しむ気軽な旅を通して自然科学に興味をもってもらいたい。そんな願いのもと誕生した「ジオ鉄」の取り組みは、大地の物語を読み解く新しい鉄道旅行のスタイルとして2009年筆者らにより提案された¹⁾²⁾。鉄道に精通した地質技術者たちの協力で始まったジオ鉄の活動は、現在、公益財団法人深田地質研究所の普及事業の一環として継続されている³⁾。

「ジオ鉄」のジオは地球や大地を表す言葉に用いられる「Geo-」、鉄(てつ)は、鉄道そのものの意味と鉄道ファンの愛称「テツ」にちなんで、鉄道に対する親しみと敬意を込めて名付けた¹⁾²⁾。沿線に広がる大地の物語を読み解き、楽しみをみんなで分かち合う。「ジオ鉄」は鉄道を利用した新しい形のジオツアーである。



図-1 「ジオ鉄®」ロゴマーク

2. ジオ鉄路線の選定とジオポイント

多くの人にとって親しみやすいジオツアーを目指す観点から、ジオ鉄路線は、鉄道を通じて「見る」「触れる」「感じる」ことのできる地質・地形遺産やそれらと深く関わる鉄道遺産・文化遺産が沿線に存在することや、鉄道着工に至る当時のルート選定のエピソードがあることが重要な要素である。ジオ鉄の企画では、そのような沿線に広がる見どころを「ジオポイント」として選定する。車窓から遠望可能な地質や地形、ジオ鉄写真の撮影に適した場所、途中下車で気軽に散策できるルート、地質や地形に関わりの深い鉄道施設や廃線跡等のジオポイントに、専門家がわかりやすい解説を加え、一般向けに紹介するのが特徴である。

3. ジオ鉄の活動(2009年5月～2013年9月現在)

ジオ鉄の企画は2009年5月、日本地球惑星科学連合2009年大会(幕張開催)のポスター発表を皮切りに主にこれまで5路線で企画を行い、ジオ鉄目線で捉えた沿線の数々のジオポイントを紹介してきた。

- ・2009年～第1路線 JR 四国 土讃線¹⁾²⁾⁴⁾
- ・2010年～第2路線 土佐くろしお鉄道阿佐線(ごめん・なはり線)⁴⁾⁵⁾
- ・2011年～第3路線 JR 四国 予土線⁶⁾
- ・2012年～第4路線 JR 東日本・西日本 大糸線⁷⁾
- ・(同年)～第5路線 JR 北海道 富良野線⁸⁾

成果の普及は専門家の集まる学会発表や講演会のみならず、より多くの一般の人を楽しんでもらえるよう工夫を重ねてきた。散策時の携帯に便利な「ジオ鉄マップ」の制作のほか、現地ツアーの実施(一般対象、技術者対象、理科教員対象など)、観光ガイド養成講座、書籍執筆⁴⁾、ロゴマーク制作(図-1)、糸魚川市や室戸市の世界ジオパークとの連携活動など、さ

まざまな形で魅力を発信し続けている³⁾。現在は2013年4月から高知新聞にて「ジオ鉄の旅 列車で楽しむ四国の地形と地形」(毎月第3土曜日掲載)を連載中である。

ジオ鉄の楽しみ方に決まりはない。列車に乗って車窓風景を眺めてもよし。列車の待ち時間に駅周辺の露頭や廃線跡を散策するもよし。沿線のジオの歴史を学び、ジオの風景と列車を一枚の構図で撮影するもよし。机上で地質図や地形図を辿りながら自然と闘い共生してきた鉄道技術の歴史を垣間見るもよし。いつも見ているあの風景、いつも乗っているあの列車が、「ジオ鉄」という価値観を持つことで、ひと味ちがう魅力を発揮してくれたら成功だ。鉄道趣味の方々から支持を得られるものジオ鉄ならではのこと。ジオ鉄を応援してくれる有難いファンの声が活動の大きな支えになっている。

4. 深田研ジオ鉄普及委員会の設立

2010年12月には「ジオ鉄」の商標登録(商標登録第5378786号)が完了し、「ジオ鉄®」の活動は社会的にも認知されるどころとなった(図-2)³⁾。さらに深化を遂げるべく、2013年4月には新しいメンバーを迎え、深田地質研究所普及事業内に「深田研ジオ鉄普及委員会」を設立した。今後もジオ鉄賛同者らの力を借りながらジオ鉄の輪を広げてゆきたい。

引用文献

- 1) 加藤弘徳・藤田勝代・横山俊治(2009): ジオ鉄を楽しむ—鉄道車窓からのジオツアーの提案—(1.JR 四国・土讃線), 日本地球惑星科学連合 2009 年大会予稿集, A004-P012.
- 2) 加藤弘徳・藤田勝代・横山俊治 (2009): ジオ鉄を楽しむ—鉄道車窓からのジオツアーの提案(1.JR 四国・土讃線), 総特集ジオパーク(2) 地球科学がつくる持続的な地域社会, 月刊地球, vol.31, No.8, pp.445-454.
- 3) 藤田勝代 (2012): ジオ鉄の取組み—4 年目を迎えて (2009-2012 年の活動記録), 深田地質研究所年報, No.13, pp.13-20.
- 4) 横山俊治・藤田勝代・加藤弘徳 (2012): 第七章ジオ鉄®で楽しむ高知の地質, 最新・高知の地質 大地が動く物語, 鈴木堯士・吉倉紳一編, 南の風社, pp.124-146.(第 23 回高知出版学術賞受賞)
- 5) 藤田勝代・加藤弘徳・横山俊治・植田壮一郎(2010): ジオ鉄を楽しむ—2.ごめん・なはり線(土佐くろしお鉄道阿佐線), 日本地球惑星科学連合 2010 年大会予稿集, OES005-P02.
- 6) 藤田勝代・加藤弘徳・横山俊治(2011): ジオ鉄を楽しむ—3.JR 四国・予土線, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会予稿集, O002-P29
- 7) 上野将司・藤田勝代・横山俊治(2012): ジオ鉄を楽しむ—4.JR 大糸線, 日本地球惑星科学連合 2012 年大会予稿集, MIS32-P12.
- 8) 安田 匡・藤田勝代(2012): ジオ鉄を楽しむ—5.JR 北海道富良野線, 日本地球惑星科学連合 2012 年大会予稿集, MIS32-P13.



図-2 「ジオ鉄®」商標登録証(商標登録第5378786号)